

賠償責任保険加入の必要性に関して

共済委員会 理事 北川 肇

日本鍼灸師会の 2020 年度定時代議員総会資料によりますと、過去 6 年間で 142 件の医事紛争があり、3400 万円余りの支払いがございました。18 年までは年間 20 件程度の支払い案件でしたが、19 年よりほぼ倍増の 39 件となっている上、1 億円を超える訴訟案件も発生しており、近年、賠償金が高額になるケースの増加が増えています。

賠償責任保険に関しては、今後の賠償請求金額は増大していくと予測されます。

そして、有害事象、医療過誤において問題解決には、示談交渉解決が基本となります。

注意点として、示談交渉は自動車事故と違い、保険会社から代理人が派遣されません。

示談交渉においては、道義的責任と法律上の責任を区別して考え、鍼灸院として毅然とした姿勢にて交渉に臨む事が肝要です。事故が起き、先方から責任を追及された時は「初めての事態なので、鍼灸師会に報告し、指導を受け対応させていただきます。鍼灸師としての応分の責任は果たします。」と告げるにとどめ、具体的には、お見舞いに行く等、誠意を示す事は良いと思いますが、金銭の手渡しは厳禁と考えます。

賠償責任保険は、有害事象や過誤を起こしたときに使う患者さん用と考える先生が、多くおられますが、本来の賠償責任保険は先生方自身を守るためのものです。

会員の皆様のはりきゅう業が毎日安心して行えるように、当会には東京海上日動火災保険と損保ジャパン損害保険の賠償責任保険があります。必ず、賠償責任保険には加入してください。

今号にパンフレット等を同封させて頂いておりますので、
ご理解の上ご加入下さいますようお願い申し上げます。

鍼灸安全対策ガイドライン 2020 年版に関する
アンケート調査へのご協力をお願い

下の通り（公社）全日本鍼灸学会 臨床情報部 安全性委員長 菅原正秋様よりアンケート調査への協力依頼がありました。

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）の助成を受けて作成されました「鍼灸安全対策ガイドライン 2020 年版」が発行されて一年が経過しました。現在、同助成を受けて「鍼灸安全対策マニュアル（仮）」の作成を進めております。これに伴い、本ガイドラインの使用状況とこれに対するご意見ならびにマニュアルに対するご要望を調査することになりました。

つきましては、本アンケート調査へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。皆様のご意見をガイドラインの改訂ならびにマニュアル作成に反映させ、より良いものにしていきたいと考えております。

ご多忙の折り、変恐縮ではございますが、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

締め切り：令和 4 年 1 月 31 日
アンケートフォーム：
<https://safety.jsam.jp/survey2021.html>
※個人情報記載の必要はありません。



会員動態
(敬称略)

正会員入会 (4 名)

阪川明日香	吹田地域	美容鍼サロン ARINATURE
大塚 信之	豊中地域	大塚鍼灸院
石田 武史	大東地域	出張専門
久米 昂	淀川地域	アンドケア鍼灸院

会員種別変更 (1 名)

山田 敏朗	住之江	山田鍼灸院	A → B
-------	-----	-------	-------

登録事項変更(2名)

上田 里実	堺	上田鍼灸院	住所変更
魚森 健寛	豊中	魚森鍼灸院	施術所名変更

退会届

北野 秋子	河南地域	ご逝去により退会
-------	------	----------

(公的) 審査委員だよ Re : No. 16

民生労災委員長 森下輝弘

「押印を求める手続の見直し等のための厚生労働省関係省令の一部を改正する省令の施行等に伴う通知様式等の改正について」(令和 3 年 1 月 7 日付厚生労働省通知)の発出により、健保及び生保の一部、大阪市、東大阪市、堺市などから順次各種様式等の一部書類への押印の不要となるもののお知らせが届いています。

今後、不要となる保険者が増えてくるものと思いますが、保険者により不要となる書類が違ってまいりますので、その都度お知らせしますので、お気をつけください。

公益社団法人 大阪府鍼灸師会
令和 3 年度 第 5 回理事会 議事メモ

(出欠確認)	
理 事	16 名
出席数	15 名
欠席数	1 名
監 事	2 名
出席数	1 名
欠席数	1 名

1. 日 時 令和 3 年 11 月 21 日 (日) 10 時 00 分～
2. 場 所 大阪府鍼灸師会館 4 階
3. 司 会 理 事 久保俊仁
4. 議 長 会 長 得本 誠
5. 議事録作成人 理 事 永澤至子

出席理事：得本誠 富永礼子 南治成 堀口正剛 久保俊仁 荒木善行
柴山忠宏 永澤至子 吉村春生 清藤直人 三宅なつえ
喜多伸治 森下輝弘 廣橋久美子 北川肇 web

(順不同)

出席監事：浅井和俊
欠 席：丹波徹二 浜田暁

(次第)

- Ⅰ. 開会の辞 副会長 南 治成
Ⅱ. 挨拶 会 長 得本 誠
富永副会長が 11/ 3 旭日単光賞を受賞されましたのでお祝いをさせていただきます。
富永副会長より：11/29 に授与式があるので来年 1 月の理事会で披露したい

- Ⅲ. 報 告 正副会長活動報告・日鍼会活動報告・委員会報告
得本会長より：10/25・26 日鍼会全国大会、70 周年記念式典に出席
11/18 正副会長会議に出席
富永副会長より：得本会長と同タイムスケジュールでの行動
堀口理事より：9/25、10/30 全国災害支援団体の Web 会議に参加し日鍼会の活動を報告
11/14 日鍼会理事会に Web 参加
DSAM 研修会 12/18 への参加呼びかけ
南副会長より：日鍼会で労災特別加入の話が進んでいる。個人開業の鍼灸師でも加入可となり通勤時の事故・勤務中の事故などに対応が可能となる。
全日本鍼灸学会を中心として電子カルテの標準規格を作成予定。西洋医学・東洋医学のダブルコーディングを行い、ビッグデータを蓄積・分析することで鍼灸の効果が明らかになり、ひいては国としても持続的な社会保障制度への見直しとなる。
全日学と業界団体（利益相反となるためメーカーは除く）とで一年半かけて協議し決めていく。

- 久保理事より：法人管理委員会
厚労大臣表彰に堀口副会長を推薦するも見送りとなったため引き続き推薦し続けたい
11/18 正副会長会議を開催
清藤委員より：青年委員会
9/19 大阪コロナホテルでの青年部一泊研修報告
永澤理事より：地域ケア推進委員会
日鍼会全国大会に出席

Contents

M-1

- ・賠償責任保険加入の必要性に関して
- ・鍼灸安全対策ガイドライン 2020 年版に関するアンケート調査へのご協力をお願い
- ・審査委員会だよ Re : No. 16

- ・会員動態
- ・理事会 議事メモ

M-2

- ・理事会 議事メモ

吉村理事より：来年度の近畿ブロック研究大会の打ち合わせ参加
災害対策委員会 市民公開講座「災害の時あなたは」を開催予定
災害時に各団体が災害時どのような支援活動をしているのかまとめた資料を配布
介護分野でも電子カルテ推進の動きがあるとの報告

喜多理事より：編集情報化委員会
いかなごうの配信状況報告（配信約 580 人、閲覧約 250 人）
Fresh 新年号を発刊するため記事の締め切りは 12/17 厳守

森下理事より：民生労災委員会
10/7 生保審査会・相談会
11/8 より生保労災審査会・相談会とした
10/18、19、11/16、17 国保連合審査会出向
10/17 生保労災新規指定講習会 2 名出席
保険者対応（枚方市・高石市）施術者が患者の依頼で代筆したときの対応報告
（堺市生保）押印廃止に伴う請求用紙などへの押印についての対応報告
労災保険などについての保険取扱困難事例アンケートを作成したので、大鍼会ホームページのトップページの集積フォームから協力願いたい

柴山理事より：組織委員会
名簿の作成を進めておりもうすぐ完成予定
日鍼会の賠償責任保険について部数確認の上 Fresh に同封予定
学生案内が来週より始まる予定

荒木理事より：研修委員会より活動報告
9/26 近畿ブロック会議
10/10 霊枢勉強会開催
10/12 近畿医療学園専門学校教育課程編成委員会に出席
10/24 日鍼会全国大会に参加
10/31 鍼灸師のための周産期ケア講座（12/12 開催）打ち合わせ兼研修受講
11/14 霊枢勉強会
午後より学術講習会開催しハイブリッド開催で申込参加者多数であった
（その他の報告）
・全日学近畿支部学術集会（11/23 開催）に近畿ブロック全 7 師会から協力賛同を得ることができた。当日はシンポジウムとして「大鍼会の介護予防についての取り組み」を発表予定。吉村理事に監修依頼。
・令和 4 年 2/13 眼科疾患をテーマに学術講習会を開催予定。
・組織委員の学生案内時に「大鍼会研修委員会 LINE オープンチャット」のアピールを依頼

三宅理事より：普及啓発委員会
・各マラソン大会ケアサポートボランティア応募人数報告
・マラソン大会中止を受け、ボランティア参加のための研修会・事前打ち合わせ会の日程変更報告
・10/30 スポーツ鍼灸プロジェクト委員会会議開催
・11/ 1 河内長野シティマラソンボランティア参加にあたり、市との覚書内容に変更箇所について確認の上再締結
・11/7 マラソンケアサポートボランティア参加のための研修会用ビデオ撮影会実施
・11/7 大阪聴覚障害者協会ゲートボール大会のケアサポートとしてボランティア参加

久保理事より：WMG 担当丹波理事に代わり報告
9 月理事会以降の活動報告
10/26 2026 年 5 月開催への延期調整連絡があり、日本財団への計画変更が必要となり事業計画再提出を普及研修が見積もりを準備中。
現段階で判明していることとして、大会組織委員は規模縮小して存続、大会実行委員会は一旦解散、大会準備が動き始める頃に本会に連絡が入るよう引継ぎ予定、との報告。

（その他）
・森下理事より地域ケア委員への質問：
鍼灸治療を受けている患者、またその家族がケアプランを希望するときに、鍼灸施術に理解のある当会会員のケアマネージャーを登録し大鍼会で照会できるようにできないか。
→回答：大鍼会からの紹介は難しく、連絡窓口である地域包括支援センターにその希望を伝える必要がある。

・荒木理事より研修会についての質問：
研修会のインターネット申し込みは、ネット販売に相当するのか。またキャンセルポリシーなどの記載がホームページに必要なかどうか、特定商取引法に関する懸念がある。
→南副会長より回答：明日 (11/22) 開催の日鍼会研修・法人管理合同委員会
で弁護士に確認予定。

IV. 議 案

第 1 号議案 会員動態（得本）
得本会長：・新規正会員申請 3 名についての報告
全会一致にて承認
・会員種別変更申請 1 名について A → B 会員への変更理由についての報告
全会一致にて承認
・登録事項変更 2 名、退会届 1 名についての報告

第 2 号議案 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の件（久保）
久保理事より：令和 4 年 1 月 1 日より総務省・改正電子帳簿保存法が施行されるにあたり、その内容について審議・承認いただきたい。
EDI 取引、電子メールを利用した請求書、その他電子取引で行われた請求書等の授受について、電子請求書の紙媒体の保存ができなくなるため、タイムスタンプをつけてクラウド上に保存する、もしくは以下 3 つの方法で保存する必要がある。事務処理規定を整備、検索できるように請求書を PDF ファイルに変換・リネームして保存、エクセルにて請求 PDF を管理保存。また保存期間はサーバ内に 7 年間とする、などの規定についての説明。現在、鍼灸師会でネット完結しているものは少ないが、最初にシステムを作り都度対応の予定である。財務より杉本事務所に入力方法をレクチャーしていただく予定。
規程について全会一致にて承認。

第 3 号議案 アーカイブ配信及び動画共有サイト「Vimeo」の有料プラン契約の件（荒木）
荒木理事より：研修会参加者からアーカイブ（見逃し）配信の要望が多いため、実施する上でコストやシステムで最適と考える「Vimeo」の利用契約を検討している。
「Vimeo」有料プラン Plus で契約をすすめる方向
全会一致で承認。

第 4 号議案 準会員限定、若手鍼灸師の集いについて（清藤）
清藤理事より：卒後 5 年後に開業した先生を呼び経営ノウハウなどを語っていただき、懇親会を設けることで、20~30 代の学生や卒後鍼灸師に向けてモチベーションアップにつながる交流の場としたい。
南副会長より：講師料や懇親会内容などを、今後のコロナ感染状況を踏まえ見直す必要がある。
1 月の理事会までに具体的に提出されたい。
継続審議

第 5 号議案 令和 4 年度予算案の件（北川）
北川理事より：予算案収支の見直しに関する議案上程書についての説明
前年度と大きな変更点があるかどうか各委員長の説明を求める
三宅理事より：普及啓発委員会は予算変更なし
荒木理事より：研修委員会も事業計画の変更、新規計画の予定もない。
研修聴講生の増加にともない、聴講費用収入増加を見越した数字を「収入」に記載。
講師の謝金や交通費について支出計算しているが、収支とも昨年度と大きくは変わらない。
永澤理事より：地域ケア推進委員会の予算案報告
介護予防鍼灸師の登録講習などの実施状況により収支変更があるかもしれない
森下理事より：民生労災委員会
変更点として役員報酬・委員謝金について 2/3 に減少
鍼灸保険協会大阪への民生労災の業務委託がなくなったため委託料分が削減された
柴山理事より：組織委員会、中座のため報告なし
清藤理事より：青年委員会
一泊研修会費、お灸フェスの講師料を計上し報告
喜多理事より：編集情報化委員会
予算内訳についての報告
久保理事より：法人管理委員会
基本ベースは変更ないが、会議開催の回数により収支変動あるかもしれない
北川理事より：例年より予算は抑えられているが、会員減少している現在、新たな財源が必要と考える
久保理事より：府民公開講座の動画などを啓発目的に配信して公益活動を活発にした方がよいのでは？
それを踏まえ各委員が収支予算を 1 月に出されたい。
三宅理事より：動画作成を担うのはどの委員会なのか。
久保理事より：各予算は事業企画をした委員会につける。制作作業、設営作業などの人件費については各委員会、または相互の委員会メンバーに依頼し予算を割り振り計上。
予算案も再度 1 月にあげるという形でお願いします。

第 6 号議案 その他の件
議案なし

V. 閉会の辞 会長指名理事（廣橋）